

平成20年度 第3回 府中市男女共同参画推進懇談会 議 事 録

1 日 時 平成20年10月22日(水) 午後7時～9時

2 場 所 女性センター 第1会議室

3 出 席

(1) 委 員

小西(厚)委員長、諸橋副委員長、北川委員、五座委員、小西(さ)委員、
島野委員、日高委員、平井委員、矢島委員、吉田委員

(2) 事務局

川田市民活動支援課男女共同参画推進担当主幹、松井男女共同参画推進係長、
大沢事務職員

4 欠 席

後藤委員、村野委員

5 傍聴者

なし

6 会議内容

(1) 開会

(2) 協議事項

ア 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書の評価方法について
資料2を用いて協議を行った。各委員の意見は次のとおりである。

001 審議会等委員の男女構成比をそれぞれ30%以上に促進

- ・ 女性の参画が進んでいる分野とそうではない分野がある。全体で30%という表示としない方が良いのではないか。
- ・ 女性が参画すべき審議会等で、0%というものがある。
- ・ 審議会等によっては、全ての委員が専門職等というように、数値目標を設定することが困難な分野もある。
- ・ 府中市男女共同参画計画評価報告書(案)に添付している「平成19年度各種審議会・協議会等一覧」では、各委員を選出している母体が不明である。母体が不明であると選出された委員の比率が妥当であるかの判断が難しい。
- ・ 市・担当課からの依頼方法によっては、依頼先における担当者が男性である等の理由により、男性が多く選出されることも考えられる。
- ・ 女性が少ない分野においても、女性の構成員が比較的多い団体へ依頼する等、女性を選出することは可能である。

002 すべての審議会等へ女性委員を登用するように促進

- ・ 審議会等に女性委員を登用する際は、意見を言いづらい等の理由が考えられるため、複数の委員を選出する必要がある。

004 市民の自主的学習活動の援助

- ・ 取組と実績として記載されているのは、女性センター登録団体に関してのみである。しかし、自主的学習活動の援助としては、市民企画講座・男女共同参画推進フォーラム・主催講座等も含まれるのではないかと。
- ・ 主催講座等の実施では、「自主的に参加する人・来た人」に対する援助しかできない。しかし、学習時間が取れない等、ゆとりがない方への援助も必要である。
- ・ 自主的学習活動の援助として、「子連れの女性が来館しやすい環境をつくる」という援助も必要ではないかと。

010 コミュニティ活動等への参加促進

- ・ コミュニティ協議会への女性の参加を促進していない。動員実績だけでなく、実際に活動している人に関する記事を記載する必要がある。
また、女性会長を増やすことが重要であると提言しているが、このことについて、評価に反映されていない。
- ・ 地域に長く暮らしている人が参加することは、とても良いことである。これに加え、女性が参加しやすい環境を整えてほしい。
- ・ 女性の参画がどの程度進んでいるのか調査してほしい。

021 女性職員の参画意識の向上

- ・ 昇格することに関してメリットはあるが、デメリットも多くあるため、多くの女性が昇格することを目指さない。昇格試験を受験することを阻む要素を分析し、女性が働きやすい環境を整えることが必要である。市は、市職員の男女共同参画を行うべきである。
- ・ 昇格試験について、受験者数・合格者数等の具体的な数字が必要である。

023 女性の就職支援講座の実施

- ・ 就職支援講座を受講した後、求職をしたが、女性が働くことのできる場所が少ない。多くの女性が働けるようにフォローが必要である。また、女性の就職支援講座の実施後に追跡調査が必要である。

029 長時間労働是正の啓発

- ・ パンフレットを配布したということだけではなく、どこにどれだけ配布したかという具体的な数値がほしい。

032 子育て支援の充実

- ・ ハード面（施設）の数だけではなく、各施設の利用者数がほしい。

- ・ 施設の数に掲載されているが、母数を記載してほしい。
- ・ 以前、一時保育を利用したが、利用料金が高額であった。現在の状況を教えてほしい。
- ・ 一時保育について、各保育所で何人預かっているのか等の数値がほしい。

039 子育て支援の充実

- ・ 児童ひとりあたりの床面積等、ハード面の目標がほしい。

036 低年齢児保育の充実

- ・ 待機児童数がわからない。よって、今後の目標を達成することで、改善できるのかが不明である。
- ・ 担当課評価を“2”としている。担当課は待機児童が存在することを問題として認識していることが伺える。

046 介護保険制度と福祉サービスの充実

- ・ “女性が働く場”としての視点を持つことが必要ではないか。
- ・ 利用者のヘルパーに対する対応に問題がある場合もある。利用者への啓発も必要である。

058 暴力を防ぐための意識啓発

- ・ パンフレットを配布する等の啓発は行っているが、実態についての調査も必要ではないか。
- ・ 啓発講座は年1回で足りるのか。
- ・ デートDV防止の啓発や対処等が必要である。

閉会時間となったので、以上で協議を終了した。次回会議へ継続とする。

なお、今後の作業については、小委員会を設置することとする。詳細については、次回協議する。

イ 府中市女性センターの事業計画及び運営のあり方について
次回協議することとする。

ウ 次回の会議日程について

日時：平成20年11月17日（月）午後7時から

場所：女性センター 第1会議室

(8) 閉会